

2024 年度四国支部活動開催報告

主 催：公益社団法人日本語教育学会、愛媛大学国際連携推進機構
開 催 日：2024 年 12 月 13 日（金）16:20～17:50
会 場：オンライン
参加人数：33 名（会員 14 名、一般 19 名）

この報告会は「日本語教育学会 支部活動」の応募企画として、2017 年から開催しています。目的は、学会参加の機会のない愛媛県内を中心とする四国地域の日本語教育関係者に学会の情報を提供することですが、今回は、「週末は自分の日本語ボランティア活動が入っているので参加しにくい」という過年度のアンケートの要望を踏まえ、平日夕方にオンラインで開催しました。当日の参加者は 33 名で、愛媛県を中心とした四国内の日本語教師、日本語ボランティア、大学生、自治体職員、外国人支援団体関係者と多岐にわたっていました。

過年度の秋季大会報告会同様、今回もまず参加者を 3 つの小グループに分け各ブレイクアウトルーム（以下 BOR）に移動。そこに今回の報告者 3 名が入室し、前半 10 分で報告・後半 10 分で意見交換を 1 セッションとし、20 分経過すると報告者が BOR を移動するという形式で実施しました。3 件の報告終了後、参加者は、自分が興味をもった報告者の BOR に入室し意見交換を深め、最後まで活発な話し合いが行われていました。報告会後のアンケートでは、「介護、やさしい日本語、教材紹介など、興味のある分野での報告、発表をお聞かせいただき、大変勉強になりました。」等、報告内容について肯定的な意見が見受けられました。また、「外国人の日本語学習について熟知している日本語の専門家が、外国人に日本語教育を提供するだけでなく、日本人に向けてやさしい日本語（外国人が理解しやすい日本語）がどういうものか伝え、普及させる活動は有意義だと改めて感じました。」という方もいらっしゃいました。一方で、「報告の途中で報告者が zoom から出てしまって戸惑ったが、4 回目（フリートーク）があったので助かった」「自分自身の知識が乏しく、報告会の内容についていくのが大変だった」といったご意見もありました。いただいたご意見・ご感想は、今後の報告会運営に活かしていきたいと思えます。なお、この支部活動は、愛媛大学国際連携推進機構と共催で行われました。

オンライン開催となりましたが、今回も大きな支障もなく無事に終わることができました。この場を借りて、本支部活動にご参加くださった皆様、そして、本支部活動の開催のためにご協力くださった四国支部活動委員ならびに支部活動運営協力員を中心とする関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

今日の報告について

日本語教育学会大会のプログラム構成

- 一般公開プログラム 無料で誰でも参加可能
- 地域発信企画
- 研究発表 口頭発表
- 研究発表 ポスター発表 有料
- 交流ひろば 2024 年度秋季大会
<https://nkgtaikai.jp/>

 愛媛大学

この研究についての所感

介護現場は、「今ある日本語力」で、どう乗り切るかを考えている

↑

日本の介護の状況の厳しさを示している

「落ち着いて勉強する時間などない！」ことを前提とした日本語教育でなければ、現場は受け入れられない

左：報告会開始時に大会のプログラムについても説明しました。

右：報告の最後に報告者が所感を伝え、意見交換の切っ掛けとしています。

（報告者：前四国支部活動委員 高橋志野）